

2015年11月12日

報道関係者各位

IP Infusion Inc.
株式会社 ACCESS

IP Infusion、NFV ベースの
仮想 SDN コントローラオプション「VirNOSTM-C」を開発、提供開始

—新ネットワークサービス投入を
より迅速に、柔軟に実現—

株式会社 ACCESS（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：兼子 孝夫、以下 ACCESS）の米国子会社 IP Infusion Inc.（本社：米国カリフォルニア州、最高経営責任者：大石 清恭、以下 IP Infusion）は、本日、NFV（Network Functions Virtualization）^{※1} ベースの仮想ネットワークプラットフォーム「VirNOSTM（ヴァーノス）」の新オプション機能として、仮想 SDN^{※2} コントローラ「VirNOSTM-C（ヴァーノスシー）」を開発し、本日より、提供開始いたします。

「VirNOS-C」は、ネットワークの経路制御を担うコントロールプレーンとパケット転送を担うデータプレーンの分離を可能にし、特定メーカのコントロールプレーンに依存することなく、あらゆるメーカの通信機器（ホワイトボックス）に対しても利用することが出来ます。

「VirNOS-C」とNFV ベースの仮想ネットワークプラットフォーム「VirNOS」（提供中）とを併せて利用することにより、データセンタを保有する通信事業者やデータセンタ事業者、クラウドサービス事業者、企業は、設備投資（CAPEX）と運用費（OPEX）の低減、並びにネットワークのアジリティ性の向上、新サービスの市場投入までの期間短縮に向けた取り組みを、一段と強化することが可能となります。

「VirNOS-C」の主な特長は下記の通りです。

- 業界標準の IPv4・IPv6 ダイナミックルーティングプロトコル（BGP、OSPF、ISIS 等）に対応
- LDP（Label Distribution Protocol）、BGP（Border Gateway Protocol）レイベルドユニキャスト、MPLS（Multi-Protocol Label Switching）^{※3}VPN 等の MPLS 関連技術に対応
- ダイナミックルーティング/シグナリングプロトコル機能
- OpenFlow^{※4} コントローラ機能：ルーティング/シグナリングプロトコルから得た情報を OpenFlow 1.3 に準拠したフローとプロビジョン（ホワイトボックスへのフローなど）へ変換

従来、ネットワーク上の IP/MPLS ネットワークとトランスポートネットワークは物理的に完全に分離され、それぞれ異なる方法で運用されてきました。こうしたアプローチでは、実装費・

運用費が嵩み、新たなネットワークサービス投入にも時間を要するのが常でした。OpenFlowなどの標準プロトコルを採用し、コントロールプレーンとデータプレーンが完全に分離された「VirNOS-C」では、あらゆるメーカーの通信機器やスイッチ機器上で運用できますので、これらの機器自体がルーティングやシグナリングプロトコルを処理する必要はありません。

IP Infusion 最高経営責任者（CEO）の大石清恭は、

「通信事業者などの当社お客様の多くは、コントロールプレーンとデータプレーンが予め統合された通信機器を使っておりませんが、こうした方法は運用費が非常にかかります。

『VirNOS-C』は、コントロールプレーンとデータプレーンが分離されているため、IP/MPLS ネットワークをトランスポートネットワークに収束させることができますので、コストと新サービス実装までの時間を大幅に短縮することが可能となります」と述べています。

※1 NFV（Network Functions Virtualization）：ネットワークの制御機能を、仮想化技術を使って汎用サーバ上で実現する方式。

※2 SDN（Software Defined Networking）： ネットワーク構成を動的に設定するために、ネットワーク全体をソフトウェアで制御（定義）するという次世代ネットワーク技術のコンセプト。

※3 MPLS（Multi-Protocol Label Switching）： フレームやパケットの前方にラベルと呼ばれる識別子を付加して転送を行うことにより、通信の高速化や機能の付加を図る技術。

※4 OpenFlow： ネットワークの仮想化を実現する次世代ネットワーク制御技術。OpenFlow Switch Consortium が提唱し、Open Networking Foundation により標準化が進められている。

■IP Infusion Inc.について

IP Infusionは、最適化されたイーサネットやIPサービス向けに高機能ネットワークソフトウェアを提供する、業界の先駆的企業です。通信機器メーカーは、IP Infusionの「ZebOS®」やその他のグローバル向け専門サービスを活用することで、製品の迅速な市場投入や競合他社との差別化を低コストで実現することが出来ます。IP Infusionの技術が実装された製品は5大陸のほぼ全てのネットワークに搭載されています。またネットワークの機能向上や設備コストの削減、収益の改善を目指す企業による採用も増えています。カリフォルニア州サンタクララに本社を置き、ACCESSの100%出資子会社です。

<http://www.ipinfusion.com>

■ACCESSについて

ACCESS（東証マザーズ：4813）は、1984年の設立以来、独立系ソフトウェア企業として、世界中の通信、家電、自動車、放送、出版、エネルギーインフラ業界向けに、モバイル並びにネットワークソフトウェア技術を核とした先進のITソリューションを提供しています。累計搭載実績10億台を超えるモバイルソフトウェアおよび300社以上の通信機器メーカーへの採用実績を誇るネットワークソフトウェアにおける開発力・ノウハウを活かして、現在、組込とクラウドを融合したIoTソリューションの開発・事業化に注力しています。アジア、米国、ヨーロッパ地域の子会社を拠点に国際展開も推進しています。

<http://jp.access-company.com/>

※ACCESS、ACCESSロゴは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

※IP Infusion、ZebOS、VirNOSは、IP Infusion Inc.の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

※その他、文中に記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

